

事例 12 新規就業者育成研修へのフィールド提供

(九州森林管理局 佐賀森林管理署)



- ・ 佐賀県佐賀市 田ノ宇曽国有林
- ・ (左)チェーンソーによる伐倒作業(令和 6(2024)年 10 月)
- ・ (右)スイングヤーダの操作研修(令和 6(2024)年 10 月)

各森林管理局では、林業の担い手育成に向けて、多様でまとまった森林を有するという国有林野の特性を活かし、関係機関が行う各種研修に対し、フィールドの提供や研修講師の派遣をしています。

佐賀森林管理署では、佐賀県森林組合連合会が新たな林業の担い手育成を目的として実施している、就業 1 年目から 3 年目の林業作業士(フォレストワーカー)を対象にした集合研修に対し、平成 26(2014)年から国有林野を研修フィールドとして提供しています。

令和 6(2024)年は、同署の森林整備事業の実施箇所において、伐倒・玉切り等のチェーンソー操作技術やスイングヤーダを用いた集材方法等に関する現地研修が 3 日間実施されました。

引き続き、関係機関と連携しながら、研修フィールドの提供や研修講師の派遣等を通じて、林業の担い手育成に取り組んでいきます。